

(4) 子どもケータイ10か条

子どもケータイ10か条 解説編

『そこで約束!』



1. 長い間・遅くまで使わない。

メールがきたらすぐ返信したくなりますよね。また、「パケット通信料は定額だから」といって「ゲームもネットもやりほうだい。」夢中になればなるほど時間を要し、毎日のように夜ふかしになってしまいがちです。これもよくある落とし穴です。

ケータイよりも、友だちと遊んだり、家族と話す時間も大切であることを理解させ、時間を守って使うことを約束させましょう。帰宅後は、保護者がケータイを保管することもできます。健康のために、夜はしっかり睡眠時間をとらせたいですね。

2. 使っている料金のなかでやりくりする。

ケータイの料金は、お家の人が支払いますよね。翌月に請求書を見てビックリ!なんてことのないようにきちんと管理していきたいですね。各家庭で使っている金額はさまざまでしょう。でも…!

ケータイで使っている料金は、お家の人がきちんと決めましょう。そして、料金のしくみを家族で勉強して、使っている金額を守らせたいですね。

3. メールアドレスは複雑にして、迷惑メールをブロック。

メールアドレスは、「自分の名前をそのままにすると忘れることもないもんね!」なんて安易に決めていませんか? 簡単なメールアドレスにすると、迷惑メールが入ってきます。迷惑メールは、出会い系サイトや不当請求のワナかもしれません。

メールアドレスを複雑にすると、かなり防ぐことができます。例えば、・文字や数字の数を多くする。・使える範囲の記号を入れる。などの、工夫をさせたいですね。受信アドレスの制限することもできます。

4. 知らない人からメールや電話が来ても対応しない。

「友だち募集」なんてメールがくるとつい返信したくなりますよね。知らない番号の着信にもすぐでてしまう。だって、誰から、かかってきたのかが気になりますものね。ケータイの向こうにはどんな人いるか分かりません。

あやしいメールは開かず、すぐ消すようにさせ、相手が誰だか分からない着信には出てはいけません。ケータイはあなたの物です。メールも着信も知らない人から送られること自体おかしいことなのです。どんな危険があるか分かりませんね。

5. 危険なサイトにはアクセスしない。

アダルトサイトでは、わいせつな写真が簡単にダウンロードできます。出会い系サイトは、どんな出会いが待っているか興味をひかれてしまいます。インターネットで犯罪に巻き込まれる子どもがたくさん出ています。

サイトへは、アクセスしない限りつながりません。危険なサイトにはアクセスしないようにさせましょう。天気予報など、子どもがアクセスしているサイトも、お家の人に相談してから利用させたいですね。

6. やたらに個人情報を登録しない、教えない。

インターネットには、名前や住所を登録するとプレゼントがもらえるサイトがあります。「登録しないと損だ！」とばかりに安易に登録すると、次から次にあなたのケータイに迷惑メールが送られてきます。

名前や住所・電話番号などの個人情報を集めて悪いことに利用しようとする人がいます。信頼の置ける人やサイトにしかアドレスを教えたり、登録したりしてはいけません。電話で名前や住所を聞きだそうとする人にも注意させたいですね。

7. 悪意あるメールやチェーンメールは送らない。

友だちとけんかをしたので「今度会ったら、ぶつとばす！」とメールを送ったら、友だちのお家から電話がかかってきました。友だちから「チェーンメール」が送られてきました。返信しないとダメかなあ。

文字だけのメールは、感情がストレートに伝わるので言葉には気をつけさせたいですね。「チェーンメール」は迷惑です。勇気を持って転送せずに削除させたいですね。

8. 使っている場所・悪い場所、やってはダメなことを考えて使う。

本屋さんの本をケータイのカメラで撮ったり、電車の病院内などで大声で通話したりしている人のことを、あなたはどのように思いますか？

社会のルールを守りましょう。電車の中や公共の場所ではマナーモードや電源オフにします。ケータイのカメラで何でもかんでも写すのは、著作権やプライバシーの問題になります。自転車に乗りながらのケータイの使用も危険ですから絶対にやめさせたいですね。

9. ケータイを人に貸さない、なくさない。

「ケータイ忘れたから貸して！」と言われたらどうしますか？また、どこかにうっかり、ケータイを置き忘れて、なくしてしまったらどうしますか？

ケータイは首からぶら下げるなどしてしっかり管理させましょう。ケータイをなくしたら、すぐ電話会社に届け出ましょう。ケータイには自分だけでなく、友だちの個人情報もたくさん入っています。友だちに貸して、見ていないところで使われるとトラブルになることもあります。

10. 困ったこと・分からないことは、すぐに保護者に相談する。

「あれっ？申し込んだ覚えがないのになあ？どうしよう。お家の人に相談するとケータイ禁止になるしなあ。いいや、ほっておけ！黙ってよ。」

困ったときやどうしていいか分からなくなったときは、必ずお家の人に相談するようにさせましょう。大人の知恵とネットワークが、あなたを必ず救ってくれることを教えましょう。